

第9回 全員協議会記録

1 日 時 令和元年6月3日(月) 午前10時55分 開会

2 場 所 議会本会議場

3 出席議員 17名

議 長	植 木 茂	議 員	高 田 保 則
副 議 長	横 尾 祐 子	”	阿 部 幸 夫
議 員	佐 藤 栄 一	”	太 田 紀 己 代
”	渡 辺 幹 衛	”	樗 沢 諭
”	村 越 洋 一	”	山 川 香 一
”	岩 崎 芳 昭	”	小 嶋 正 彰
”	宮 澤 一 照	”	八 木 清 美
”	関 根 正 明	”	堀 川 義 徳
”	霜 鳥 榮 之		

4 欠席議員 0名

5 欠 員 1名

6 説 明 員 0名

市 長	入 村 明	企 画 政 策 課 長	葭 原 利 昌
副 市 長	西 澤 澄 男	財 務 課 長	平 井 智 子
総 務 課 長	平 出 武		

7 事務局員 2名

局 長	岩 澤 正 明	主 査	道 下 啓 子
-----	---------	-----	---------

8 件 名

1 事件

1) 第3次妙高市総合計画の策定状況について

○議長（植木 茂） ただいまより全員協議会を開会します。

1 執行部側報告

1) 第3次妙高市総合計画の策定状況について

○議長（植木 茂） 1) 第3次妙高市総合計画の策定状況について、報告願います。

企画政策課長。

○企画政策課長（葭原利昌） それでは第3次妙高市総合計画の策定状況について御説明申し上げます。今回は、第3次総合計画の概要、アウトラインとこれまでの取り組み、そしてこれからの予定が主なものとなります。よろしくお願いたします。初めに1 第3次総合計画の概要について御説明いたします。

(1) の計画期間についてですが、現行の総合計画との継続性を踏まえるとともに、時代の変化や多様な市民ニーズを、より迅速かつ的確に捉えた計画とするため、第2次総合計画と同様に、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。(2) の妙高版総合戦略との関係についてですが、最重要課題であります、人口減少問題への対応を総合的かつ戦略的に進めるため、第2期の妙高版総合戦略と一体的な計画として策定することといたします。(3) 第3次総合計画の構成(案)についてですが、①の基本理念は、生命地域の創造、人、自然、全ての生命が輝く妙高といたします。生命地域の創造は、第1次と第2次の基本理念を踏襲するものですが、目指すまちの姿をわかりやすくするため、基本理念と将来像を一体とし、サブフレーズを付けることといたしました。

②の重点プロジェクトについてですが、今後5年間、目指すまちの姿の実現に向けたまちづくりを進める上で、限りある経営資源を効率的かつ効果的に活用するとともに、市の政策を市民にわかりやすくするため、(1) 人口減少時代に即した地域経営の推進、(2) 未来を担う子ども・若者の育成の推進、(3) 生涯現役で健康長寿のまちづくりの推進、(4) 利を生む観光地域づくりの推進の4つの重点プロジェクトを設定し、重点的、各課横断的に取り組むことによって、成果を出していきたいものであります。また、③の人口減少問題に関する戦略目標については、国全体の喫緊の重要課題である人口減少問題に対し、まち・ひと・しごと創生法に基づく、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と連動する戦略目標を掲げて、総合計画と総合戦略と一体的に策定することを踏まえ、人口減少対策に特化した視点で戦略的な柱を掲げるものであります。

現段階では国の総合戦略の基本方針が公表されておられませんので、現行の妙高版総合戦略と同様の柱を仮置きしておりますが、今後、国の策定状況にあわせて戦略目標を掲げてまいりたいと考えております。また、重点プロジェクトと、今後国が示す人口減少問題に関する戦略目標の中で、項目が重複する場合も考えられますので今後あわせて整理をしていきたいと考えております。

④の施策の体系については、目指すまちの姿の実現に向け、5つの大綱により各種施策を推進していくものであります。生活環境、自然環境、産業経済、地域共生、教育文化の5つの分野ごとに柱を掲げ、施策を体系的に構成していきます。現段階における総合計画の全体構成案を別紙2枚目のおりまとめておりますのでごらんください。

第1章では、計画の概要として、計画策定の趣旨や構成・期間、計画推進の手順などを記載していきます。第2章では、計画策定の背景として、市を取り巻く社会経済情勢の変化や第2次総合計画の評価、人口の現状や将来展望を記載していきます。第3章では、目指すまちの姿として、まちづくりの基本理念を記載し、その実現に向けての重点プロジェクト、戦略目標、施策の体系を第4章から第6章で記載していきます。第7章では、土地利用計画として、計画的な土地利用の基本方針を、第8章では財政計画として計画期間内の財政フレームなどを記載していきます。

なお、ただいまお示しいたしました全体像につきましては、あくまで現段階での案でございますので、今後の国の動向や庁内検討、さらには総合計画審議会での検討過程の中で変更となる場合がありますので、お含みおきくださいようお願いいたします。

資料の1ページ目に戻っていただきまして、次に、2. 第3次総合計画策定の取り組み状況について、説明いたします。

(1) の策定体制については、産官学金労言等の各分野からなる15名の委員で構成する総合計画審議会を設置し、市長の諮問に応じて計画案の審議を行っております。庁内検討体制につきましては、副市長と教育長、全課長で構成する庁内策定委員会、また、課長補佐以下の職員で構成する庁内プロジェクトチームを設置し、全庁的に計画案の策定作業を行っております。

(2) のこれまでの取り組みについては、主だった取組みを記載していますが、これまでに5回の総合計画審議会

を開催し、平成 29 年度までの実績をもとにした第 2 次総合計画、妙高版総合戦略の評価や第 3 次総合計画の基本理念、施策の体系や構成、重点プロジェクト等の検討を行ってまいりました。

(3) の今後の予定については、これから 8 月下旬までに個別計画、財政計画等の検討を行うとともに、計画の素案の確認を行ってまいります。その後、9 月から 10 月にかけて、議員の皆様へ計画の素案を報告するとともに、市内 3 地域での市民説明会やパブリックコメントを通じて、素案に対する意見を聴取する予定としております。

11 月の総合計画審議会では、素案への意見の計画への反映を確認し、最終的な計画案を市長へ答申していただきます。

そして、答申を受けまして、12 月議会で議案提出する予定としております。以上で第 3 次総合計画の策定状況についての説明を終わります。

○議長（植木 茂） ただ今の説明について何かございますか。

高田議員

○高田議員（高田保則） 個別のものは、ここではっきりしませんが、今の妙高市、国全体でもそうですけども、高齢化、人口減少これが最大のこれからの問題だというふうには私は認識しております。妙高市も右倣えでございますので、現在でも高齢化、人口減少によって、いわゆるコミュニティの崩壊する地域が随分あります。可能性がある地域も随分できています。そういう問題も含めて第 3 次総合計画については、それは確かに今までの計画というのはどちらかというと未来を輝くというか、右肩上がりのような計画、考え方ではあるんですが、これからの総合計画は妙高市の実態を含めて、そういう問題、確かに皆さんからすればあまり触れられたくない問題かもしれませんが、現状として現実として高齢化人口減少は紛れもない事実でございます。その中で妙高市の総合計画をどうやってつくるか、まず真剣に考えてほしいと思います。以上です。

○議長（植木 茂） 企画政策課長

○企画政策課長（葭原利昌） ありがとうございます。議員さんおっしゃる通りだと思っております。そういう意味でやはりこの人口減少社会これを素直に受け止めて、そして今ある人、もの、資源、これをどうやって生かして今後持続的な街づくりにつなげていくか、これが大事だと思っております。そういう意味で第 3 次ですね、計画の重点プロジェクトの (1) 人口減少時代に即した地域経営の推進といったところで、今は議員さんおっしゃられましたですね、いわゆるその組織の問題ですとか、人材の問題ですとか、そういったものについて、深く重点的に取り組んで参りたいなと思っております。

○議長（植木 茂） 高田議員。

○高田議員（高田保則） 今までね、高齢化対策とか少子化対策、人口減少対策、行政の皆さんでいろいろ考えて、施策をやっているわけですけど、現実問題としてそれが果たして本当の地域に根ざしてるかっていうと、現実問題としてあまり感じない。その成果っていうのがね。今だって私も妙高温泉でも周りでも、俗にゆう地域コミュニティ、区長がないとか、年寄ばっかでだめだわねというようなね、隣近所の付き合いもままならないというようなね、そういう現象も見られるわけですよ。そういう中で実態を踏まえた中で、その 3 次総合計画を実質的なものとしてつくっていただきたい。以上です。

○議長（植木 茂） 小嶋議員。

○小嶋議員（小嶋正彰） 策定体制について伺います。将来に向かってですね、妙高市の大変重要な案件だというふうに認識しております。そういった中で今現在の若者会議とかですね、そういう若者の意見を取り入れようということで、積極的に動いておられるかと思えます。この体制を見ますと、審議会は当然のことですけども、この庁内検討体制、これも庁内のほうので一生懸命やるというのはわかるんですけども、外部のですね若い皆さん方の

意見を反映するというようなことについては、どのように配慮されておられますでしょうか。

○議長（植木 茂） 企画政策課長

○企画政策課長（葎原利昌） 今ほどですね、お話ありました、いわゆる若者世代の意見の聴取と反映、まさにですね若者会議先般もですね、令和元年度のスタートを切ったところでございます。非常にやはり、若者会議のメンバー常に前向きで建設的な意見をですね、たくさん頂戴しております。そういったことでは、ここには記載してございませんけれども、ぜひそういったものですね、この第3次総合計画に取り入れていきたいと思っております。

○議長（植木 茂） 霜鳥議員

○霜鳥議員（霜鳥榮之） 一点お願いっていいですか、今の体制の問題なんです、庁内の関係、或いはそのプロジェクト云々で部会が開かれ、つくられてっていうことですね、それぞれのところで持って真剣に調査議論をやってくるというふうに思うんですが、あの私はね、平面的なものじゃなくてより立体的にということ、地域住民とか自然体のね、現場とかそういうことをこの部会の中でいかに具体的に組み立てをしていくかってことで、その後の計画そのものが立体的なものになってくるという、そういうことを私は希望していきたいなと思っております。平面的なものじゃなくて立体的なそういう私の言ってるのはそういう意味合いでございますが、その辺のところでもできればきちんとした対応、従って行政でもってつくったものだけでなく、市民全体でもってつくられたものなんだよっていうことになるようなことに期待をしたいと思うんですが、その考えがありましたら。

○議長（植木 茂） 企画政策課長

○企画政策課長（葎原利昌） この総合計画は市の最上位計画でございます。そういう意味でこの計画づくりにつきましては市民の皆様と行政の協働、そしてまた議員の皆さま方からお知恵をいただき、また才覚に預かってより良い計画をつくってまいりたいと思っております。そこで今庁内のプロジェクトチーム、例えば職員の関係でいわゆる平面的でなくてという話ございました。本当にあのそのとおりだと思っております。そういう意味で、まず市長、副市長、或いは総務課長からよく言われてるのは、職員は常にですね、地域に出て現場の声を拾って、自分で実際に見て、そしてどう考え、施策に実現していくのかということなどを再三再四言われております。そういう意味では、きちんとこれからの職員もですね、そういうような視点で地域と言いますか、現場ですね、よくその把握をして、そしてこの計画に生かすようにして参りたいと思っております。

○議長（植木 茂） 樗沢議員

○樗沢議員（樗沢 諭） 1点質問します。策定に当たっては、課長さん及び課長補佐等が関与することになっております。市の人事行政見ますと、2、3年で1回変わっちゃうと、これが人材育成とか大事な時にネックになると思っております。回答としては引き継ぎしますよとこう言っていますが、副市長も代わりました。そういうことですねこの辺の対応しっかりやった上で、統一の考えで課題をしっかり捉えておかないとまずいということが1点。2点目は行政評価システムってあるじゃないですか。それはちゃんと年度ごとにやっていると、そういうものを踏まえた上でいろいろ課題とか提言が出ているわけです。そういうものをどう取り入れて次の5年間に生かすのか、そこら辺を真剣になってんのかどうかということですね、この人事の異動だとか、そういう関係へも随分関係するということでそこが私は心配である。ただ、通り一遍のいいとこ取りのそういうものをつくったって、また同じ繰り返しになるとこういう危惧があるんですけど、その点いかがですか。

○議長（植木 茂） 総務課長

○総務課長（平出 武） 人事異動の件が1点ございましたので、課長は代わる、そういった面で組織の考えが変わるというようなことを御心配されているということではないかなと思うんですけども、今回の総合計画策定につきましては、組織で策定しておりますので、課長或いは課長補佐の課の組織のトップが代わったとしてもですね、しっ

かりボトムアップで色々上がってきた意見を課長も含め組織全体で精査して計画に反映しますので、その辺の御心配はないかというふうに考えておりますし、そのようなことがないように徹底したいと考えています。

○議長（植木 茂） 企画政策課長

○企画政策課長（葭原利昌） 行政評価の御質問でございました。第2次総合計画、それから総合戦略共にでございますが、毎年毎年ですね、いわゆるPDCAサイクルに基づいた行政評価をしております。また、その行政評価につきましては、市民の皆様への公表という形ですね、つまびらかにお示しをしております。今後も引き続きですね、この行政評価がやはり計画を策定する上で一番の基礎、一番大事なところでございます。現状とそれから評価どうなってるのか、残された課題に対してどういう政策を打っていくのか、ここが肝でございますので、今後とも鋭意取り組んでまいります。

○議長（植木 茂） 村越議員

○村越議員（村越洋一） 私、まとめ方についてお伺いしたいんですけども、前回の総合計画、今の場合は、妙高版総合戦略と別々につくられたわけですね。今回の第3次に関しては、この総合戦略と同じ中にまとめられるというふうに解釈してそれでよろしいでしょうか。

○議長（植木 茂） 企画政策課長

○企画政策課長（葭原利昌） 基本的に議員のおっしゃるとおりでありまして、前回5年前につきましては地方版総合戦略につきましては、国のほうで後追いで出てきたようなこともございました。そういう経過もございまして、総合戦略につきましては、27年9月策定したと記憶しております。今回は基本的に国もですね、第2期の総合戦略については今動き出しております。今月下旬にですね、この総合戦略の基本方針2019が閣議決定されるというふうに聞いておりますので、今回につきましてはこの第3次総合計画の中に、この総合計画を織り込んでいったと思っております。

○議長（植木 茂） 村越議員

○村越議員（村越洋一） それでですね、総合戦略のまとめ方としてKPIを表しながら作り上げていう風な形だったと思うんですが、今回については5章の部分で、そういったふうなまとめ方になるという考え方でよろしいですか。

○議長（植木 茂） 企画政策課長

○企画政策課長（葭原利昌） そのとおりでございます。

○村越議員（村越洋一） 先程課長からお話しもありましたけども、私ですねこの第2期総合戦略、いわゆる、まち、ひと、しごと創生総合戦略ですね、これの動きはものすごく大事なことなくじゃないかなというふうに思っています。課長が先ほど話したようにですね、地元っていうか地域のほうの意見をしっかりと吸い上げながらというふうな話だったんですけども、国のほうでは新しい視点ということで、これまでとは違った形の動きを示しておられますね。そこら辺をですね、どのように反映していくかということで最終的な閣議決定が今年の12月頃というふうにアナウンスされてるんですけども、その中で今回の第3期総合計画のですね、まあパブリックコメントが10月ということで、随分早く最終的な閣議決定の前にそういった形で出てくるわけなんですけども、その辺はあれでしょうかね、十分審議されて計画に反映されるような形になるというふうに思っているのか、その辺はどんなふうに考えておられますか。

○議長（植木 茂） 企画政策課長

○企画政策課長（葭原利昌） 総合戦略のスケジュールでございますが、議員のとおり12月下旬に第2期総合戦略の閣議決定がなされるというふうに聞いております。ただ今月21日頃というふうに言われております、基本方針2019がですね、閣議決定されるという見込みでございますので、基本的にはこの基本方針2019に沿った総合戦略の柱立

てがされるんだろうというふうに思っております。これを踏まえてですね、私ども具体的な5年間の総合戦略の各施策を講じていきたいと思っておりますし、この基本方針2019以外にもですね、国のほうへいろんな研修とかセミナーですとかそういったものをしてながら情報収集しながら、遺漏のないよう取り組んで参りたいと思っております。

○議長（植木 茂） 村越議員。

○村越議員（村越洋一） それについてしっかりと市民に提示して意見を伺う場を設けていただけるようお願いいたします。

○議長（植木 茂） ほかにございませんか。

○議長（植木 茂） なければ、以上で全員協議会を閉会いたします。大変御苦労さまでした。

閉会 午前11時19分